
「FTSE4Good インデックス」定期構成銘柄見直し – 2013 年 9 月

- 30 銘柄が新規に組み入れられる
- 引き続き構成銘柄の地理的分散が進む
- FTSE4Good インデックス・シリーズおよび ESG Ratings により、投資家は環境、社会、企業統治（ESG）の要素をその投資に組み入れることができる
- 新手法の採用とデータ提供計画が発表された

報道関係者各位

2013 年 9 月 13 日世界同時発表：数々の受賞歴に輝く世界的なインデックス・プロバイダーである FTSE グループ（FTSE）は本日、FTSE4Good インデックス・シリーズの定期構成銘柄見直しと、FTSE4Good ESG Ratings のレビュー（年 2 回、3 月と 9 月に実施）の結果を発表しました。

今回の見直しでは、30 銘柄が新たに FTSE4Good インデックス・シリーズに加わりました。今回の見直しで最も多くの銘柄が加わったのは米国で、11 社が追加され、次に多くの銘柄が加わったのは英国の 5 社でした。アジア太平洋諸国の構成銘柄数は引き続き増加し、韓国から 2 社、日本から 1 社が新たに組み入れられました。今回の見直しの詳細は、[当社のウェブサイト](#)をご参照ください。今回の見直しによるインデックスの変更は 2013 年 9 月 20 日の市場取引終了後に適用されます。

FTSE4Good シリーズは、投資家が環境、社会、企業統治（ESG）の要素をその投資に取り入れることができるよう設計されています。このインデックスは ESG リスクの管理に優れた企業を特定するものであり、トラッカー・ファンドや仕組み商品の基盤として利用されるとともに、パフォーマンス・ベンチマークとしても利用されています。ESG Ratings は、ESG の要素を投資の意思決定プロセスに組み入れたいと考える投資家に利用されているほか、企業の関与や受託者責任の枠組みとしても利用されています。

また、長期にわたる協力関係で成功を収めた FTSE と EIRIS は、2013 年 9 月 30 日をもって FTSE4Good 関連プロダクトに関する提携を終了することで合意しました。FTSE は、

FTSE4Good インデックスおよび関連プロダクトの基盤となる新たな手法を開発し、2013 年 9 月 30 日以降、EIRIS およびそのリサーチ・パートナーは、これらのプロダクトで使用されるデータを FTSE のために収集することはありません。FTSE の新たなアプローチに関する詳細は、追ってお知らせいたします。

- Ends -

お問い合わせ:
東京オフィス

上野 Tel: 03 3581 2811 または email japan@ftse.com

FTSE グループについて

FTSE グループ (FTSE) は、グローバルなインデックスと分析的ソリューションの提供で世界をリードする企業です。FTSE は、世界 80 カ国を超える国々の市場および資産クラスを測定し、ベンチマークとなる数千の独自のインデックスを算出しています。FTSE のインデックスは、投資分析、パフォーマンス測定、資産配分およびポートフォリオのヘッジを目的として、市場参加者に幅広く利用されています。多くの大手年金基金、資産運用会社、上場投資信託 (ETF) のプロバイダーおよび投資銀行が運用成績のベンチマークとするために FTSE と提携しているほか、世界規模の ETF、インデックス・トラッキング・ファンド、仕組み商品およびインデックス・デリバティブを設定するために FTSE のインデックスを利用しています。FTSE はまた、世界中の多くの取引所に国内インデックスを提供しています。

FTSE のインデックス設計および運用においては、普遍的な原則の核心的部分を指針としています。インデックスの設計およびガバナンスについて、業界最高の基準を適用するために、有力な市場参加者による第三者委員会が、FTSE の透明かつ規則に基づいた手法を監督しています。FTSE のグローバルなインデックスや、地域別、国別、セクター別インデックスの基礎となっているのは、FTSE グローバル株式インデックス・シリーズであり、これには最も重要な FTSE All-World インデックスが含まれています。

FTSE は提供するプロダクト/サービスの幅、厚みおよびリーチを継続的に拡大しており、インデックスの技術革新と顧客との協力関係で定評があります。

FTSE はロンドン証券取引所の完全子会社です。